

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療養通所介護まこと		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 10日 ～ 2024年 9月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2024年 8月 10日 ～ 2024年 8月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境や体制に関しては比較的整っていると評価されている。	人員は規定よりかなり多く配置されており、ほぼ規定の倍の人数を配置しており、毎日4～5名の看護師を配置して対応している。	放課後等デイサービスで人員が増え更に送迎の重なる夕方の人員を手厚くできるようにしていきたい。
2	様々な医療的ケアに対応できる体制を整えている	看護師を多く配置している。	夕方の時間にパートの看護師等を配置できるとより手厚くなると考えている
3	リハビリスタッフがおり、個別のリハビリを提供できる。	通所計画にもリハビリを組み込んでおり、リハビリスタッフによる対応を行っている。	今後、個別のリハビリ計画の作成も含めて、リハビリを充実させていきたいと考えている

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	場所が限られており、それぞれがベッドを必要としているので、ベッド上での対応が中心となっている。遊びのスペース、特に多人数で何かをできるスペースがない	床にマットを敷いて対応している	限られたスペースを有効に活用できるように工夫をしている。例えばベットの上にハンモック固定用の金具を付けてあり、ハンモックでの遊びができるなどの工夫をしている。
2	利用者の特性もあり、また、感染上の問題もあり他の事業所や児童、地域との交流が少ない	もともと連携していた保育園が廃園となり、交流する保育園がなくなってしまった。近くにできた保育園と少しずつ交流ができており、今後も対応を考えたいと思う。ただ、一緒に写真撮影等はNGと言われている。	近くの大師駅前ひよこ保育園の園児たちが行事の時に訪問をしてくれるようになっており、今後、交流を広げられると良いと考えている。
3	保育士が欠員となっており、遊びや活動がやや足りなくなっている。	保育士を募集しており、雇用できるようにしたい。	保育士が来るまでは介護スタッフや児童指導員でこの分を補っていく予定